

2023年11月期第2四半期 決算説明会資料

アステナホールディングス株式会社
(東証プライム市場:8095)



01 2023年11月期第2四半期 決算概況

02 今後の取り組み・業績予想

03 株主還元

2023年11月期第2四半期 決算概況

	当期実績	前期実績	前年同期比 (増減率)
売上高	268.5 億円	249.3 億円	+19.2 億円 (+7.7%)
営業利益	2.0 億円	7.2 億円	△5.2 億円 (△71.1%)
経常利益	2.8 億円	8.3 億円	△5.5 億円 (△66.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△2.2 億円	9.3 億円	△11.5 億円 (-)
E B I T D A	12.8 億円	17.5 億円	△4.7 億円 (△26.9%)

投資有価証券評価損の内容

【投資有価証券の内訳】

	2023年11月期 第2四半期	投資有価証券評価損
政策保有株式	2,493百万円	0百万円
直接事業投資	350百万円	216百万円
ファンド	333百万円	0百万円
その他※	602百万円	0百万円

※関係会社株式等

2023年11月期第2四半期 セグメント別業績

			当期実績	前期実績	前年同期比
ファイネケミカル 事業	売上高		72.5 億円	75.3 億円	△ 2.8 億円
	営業利益		△ 0.8 億円	4.7 億円	△ 5.5 億円
HBC食品 事業	売上高		88.1 億円	72.0 億円	+16.1 億円
	営業利益		0.7 億円	△ 0.6 億円	+1.3 億円
医薬事業	売上高		63.8 億円	58.8 億円	+5.0 億円
	営業利益		3.2 億円	3.5 億円	△ 0.3 億円
化学品事業	売上高		44.0 億円	43.1 億円	+0.9 億円
	営業利益		△ 0.8 億円	△ 0.3 億円	△ 0.5 億円
その他事業	売上高		0.03 億円	0.01 億円	+0.02 億円
	営業利益		△ 0.4 億円	△ 0.1 億円	△ 0.3 億円

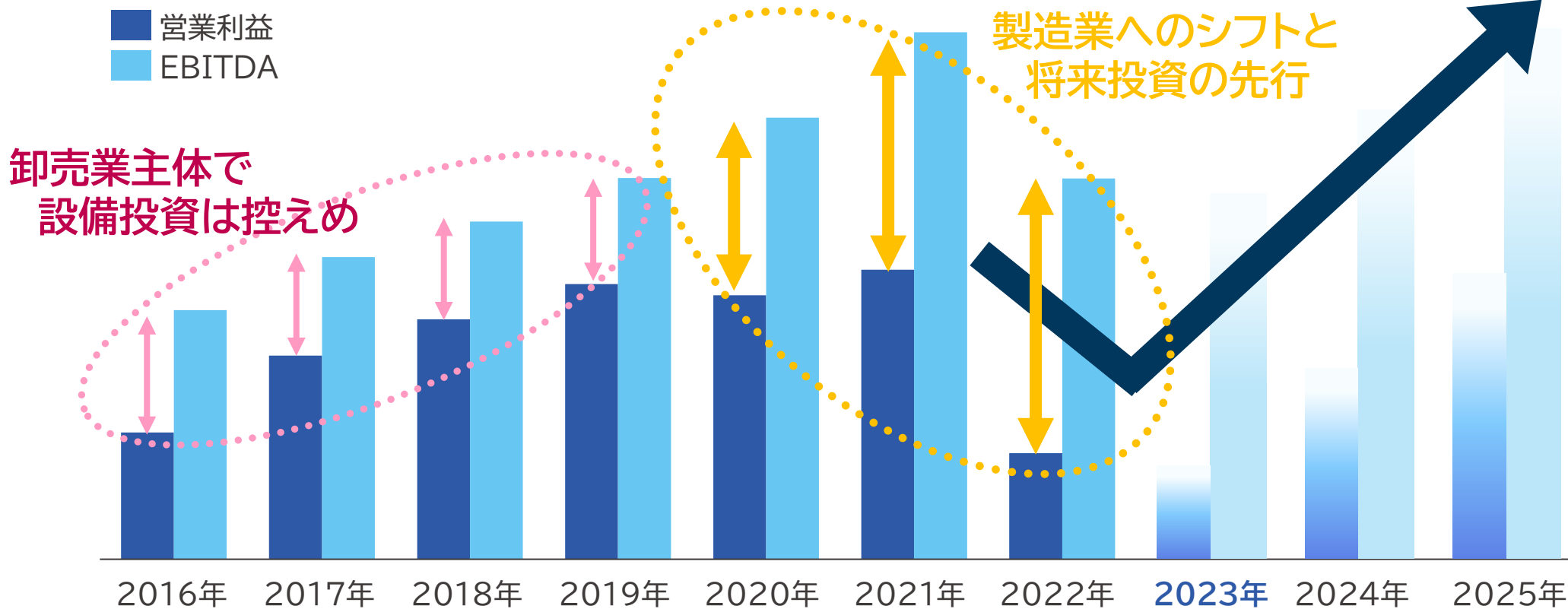
01 2023年11月期第2四半期 決算概況

02 今後の取り組み・業績予想

03 株主還元

営業利益・EBITDA推移

業態変更と先行投資の
効果が出現



調剤薬局子会社を
事業譲渡

動物薬卸売業子会社を事業譲渡



一般用医薬品卸売業からの撤退を発表

前田薬品工業への資本参加・JITSUBO完全子会社化

スペラファーマ／岩城製薬佐倉工場／マルマンH&B完全子会社化

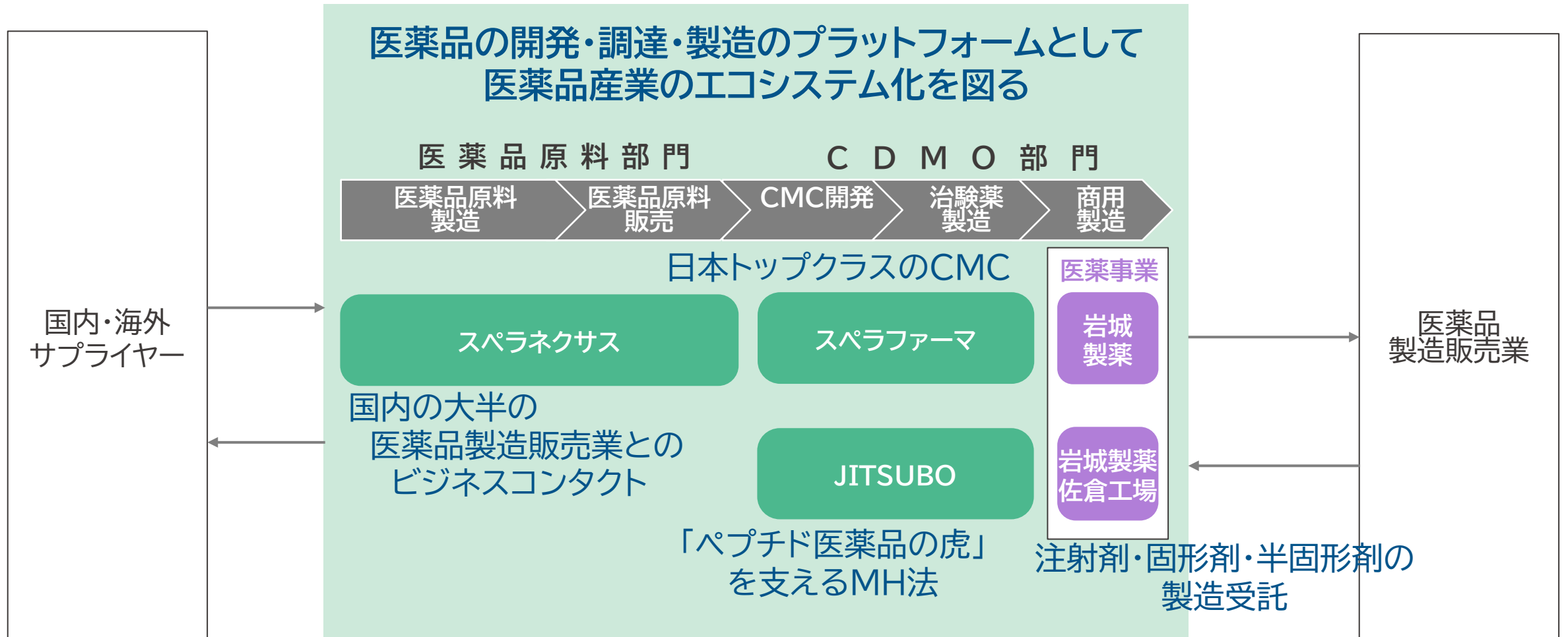
高活性原薬設備・高活性注射剤設備への投資

ファインケミカル事業

Fine Chemical Segment



ファインケミカル事業のビジネスモデル



2025年目標に向けての取り組み

【再掲載】
2022年11月期期末
決算説明会資料

2025年11月期営業利益目標

ファインケミカル事業

10.5億円

(+8.1億円※)

実現に向けた施策

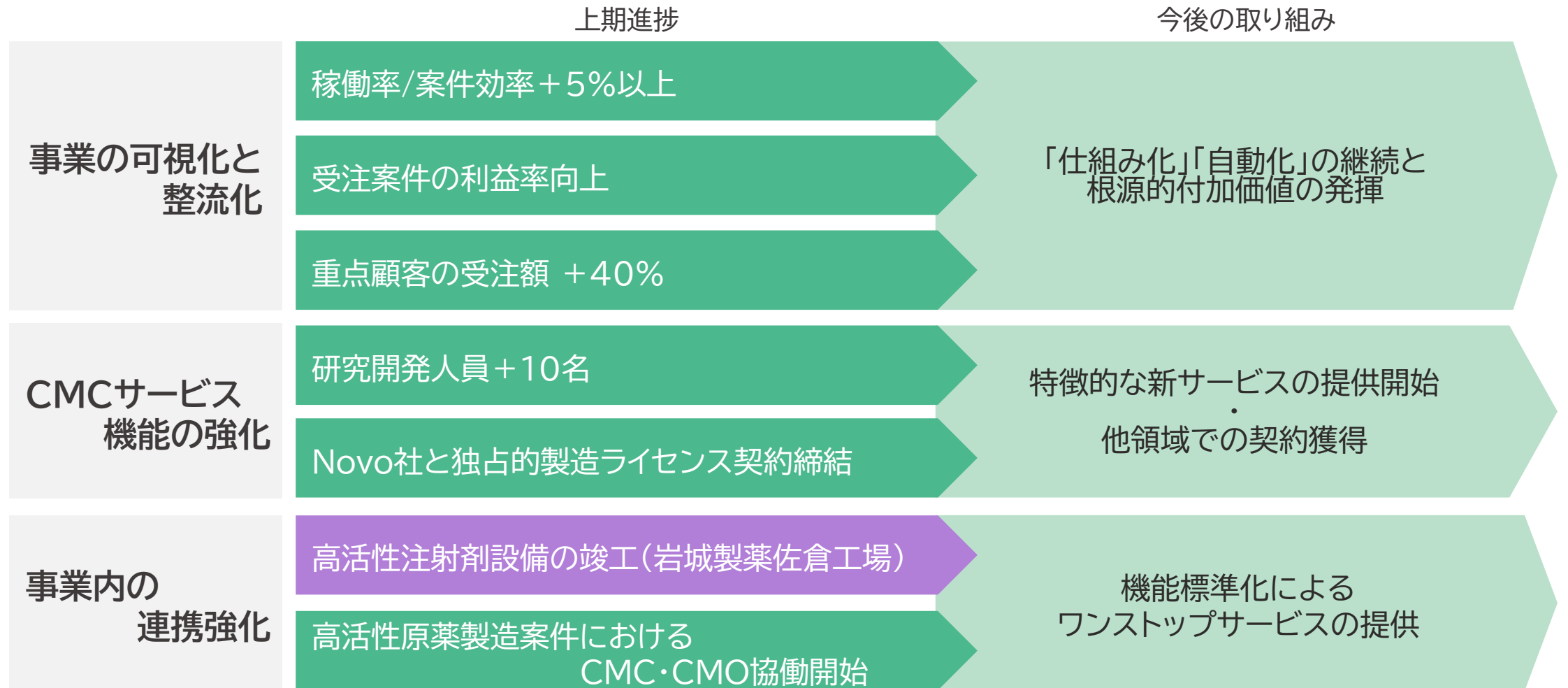
CDMO部門

- 事業の可視化と整流化
- CMCサービス機能の強化
- ファインケミカル事業内の連携強化

医薬品原料部門

- 高付加価値化
- ニューモダリティへの展開
- 既存事業の最適化

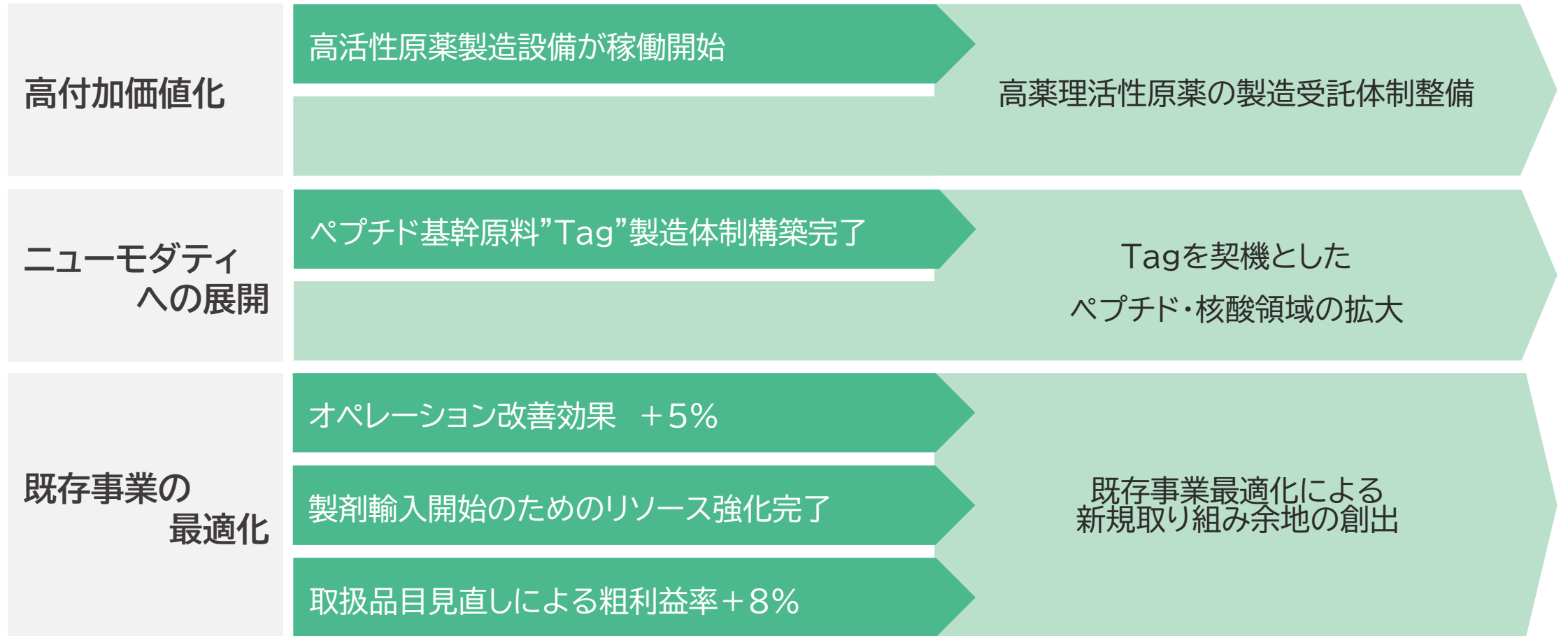
CDMO部門における進捗と実績



医薬品原料部門における進捗と実績

上期進捗

今後の取り組み

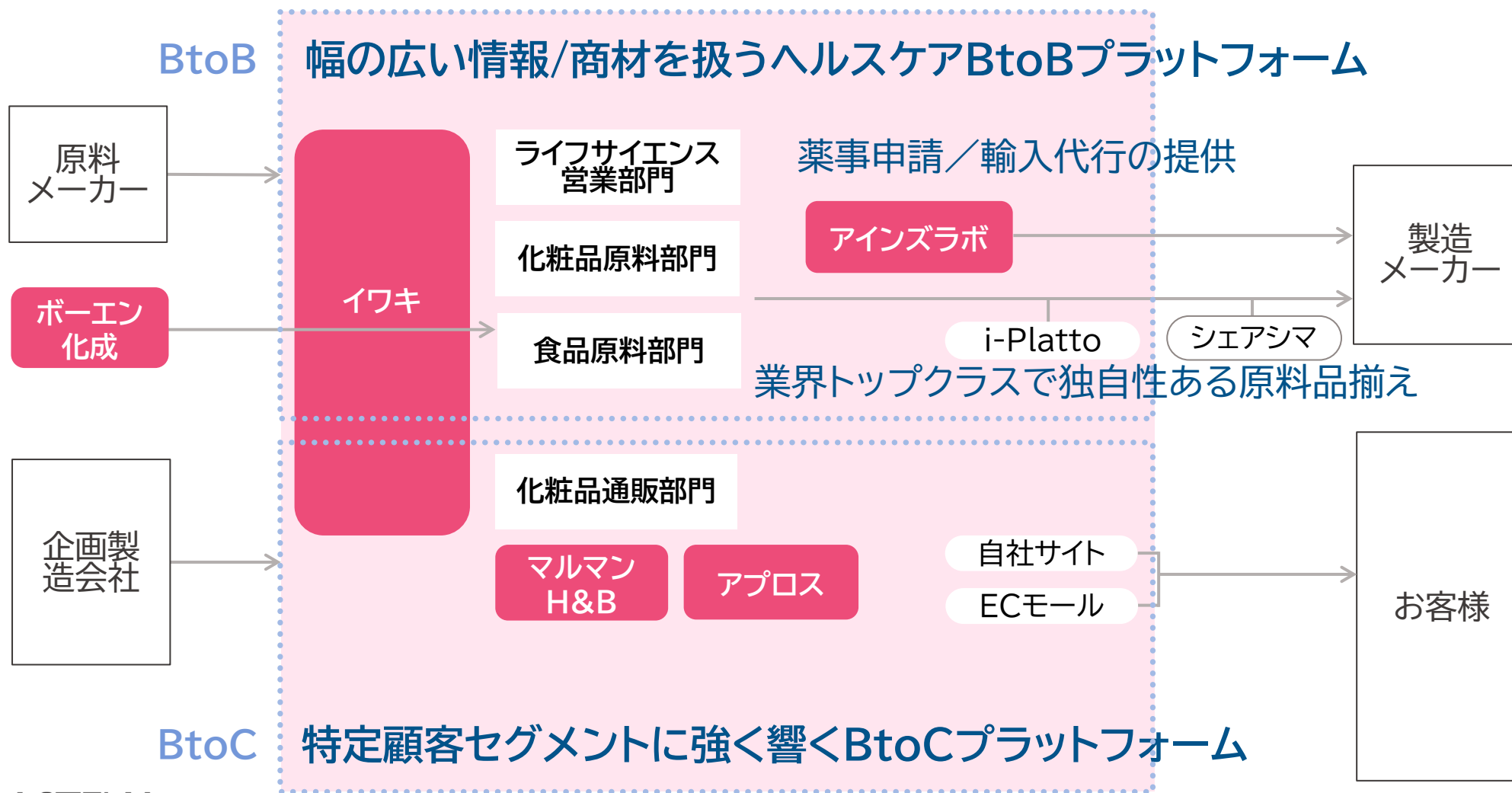


HBC・食品事業

Health & Beauty Care , Food Segment



HBC・食品事業のビジネスモデル



2025年目標に向けての取り組み

2025年11月期営業利益目標

HBC・食品事業

3.1 億円

(+1.7億円※)

実現に向けた施策

BtoB

- 企画・開発機能強化
- 営業サポート体制強化
- HPコンテンツ充実化
- 食品原料プラットフォーム構築

BtoC

- デジタル化によるデータベース
マーケティングの基盤強化
- ダイレクトマーケティングの基幹システム導入
- M&Aによる機能強化

各施策の進捗と実績

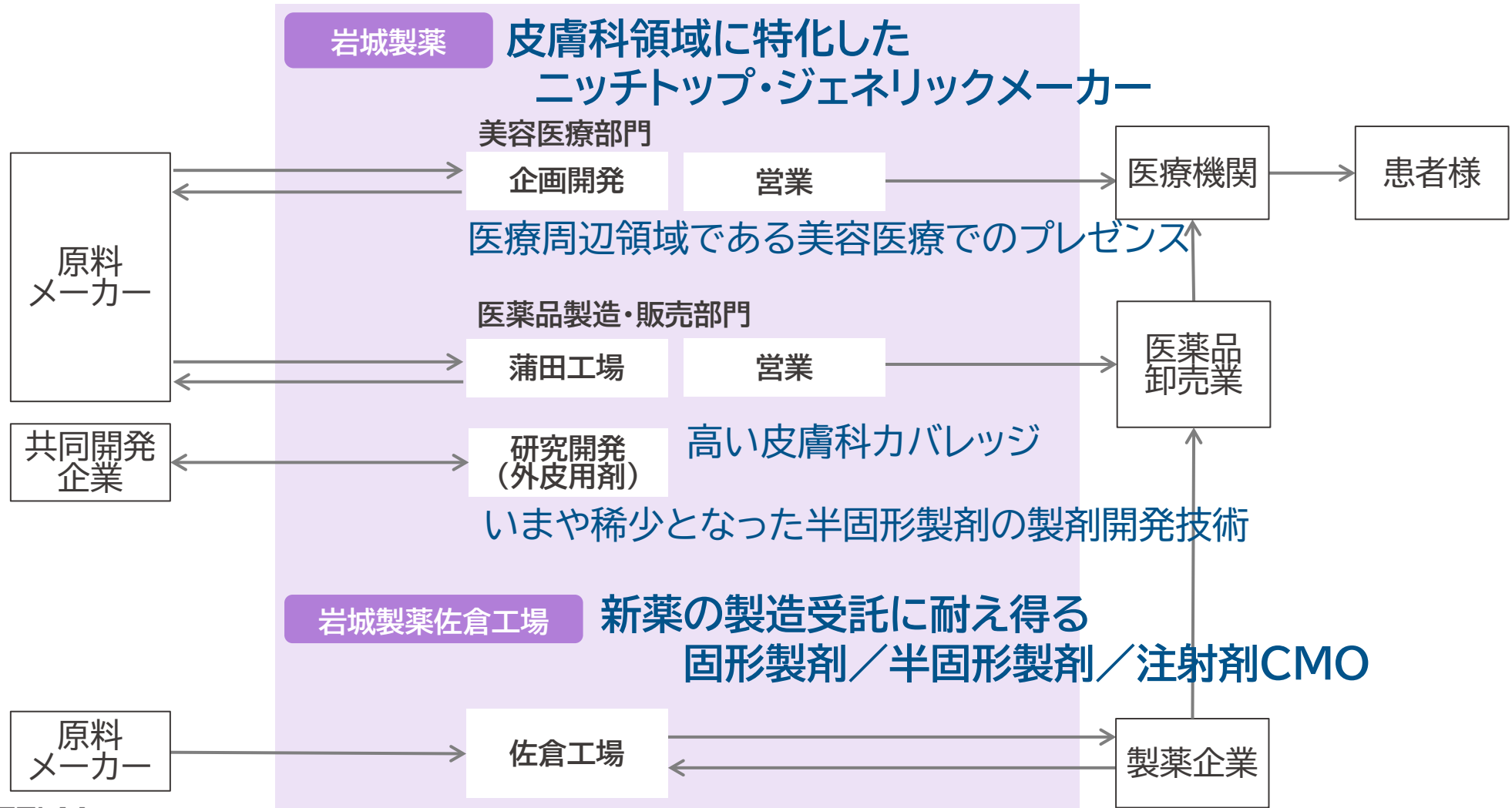


医薬事業

Medical Segment



医薬事業のビジネスモデル



2025年目標に向けての取り組み

2025年11月期営業利益目標

医薬事業

1.1 億円

(△2.8億円※)

実現に向けた施策

医療用医薬品部門

- 既存品拡販&毎年薬価改定対策

- 新製品開発

- CDMO事業拡大

- 工場生産改革

- SX戦略

各施策の進捗と実績(1/2)

上期進捗

今後の取り組み

既存品拡販と 薬価改定対策

営業DX化が完了
新製品売上 計画対比2倍

長期収載品5品目
製造販売承認承継契約締結

不採算品再算定に複数品目が指定

長期収載品のさらなる導入
・
半固形製剤の最低薬価設定に向けた
業界活動の継続

新製品開発

キノファーマとの共同開発において
第Ⅱ相臨床試験開始

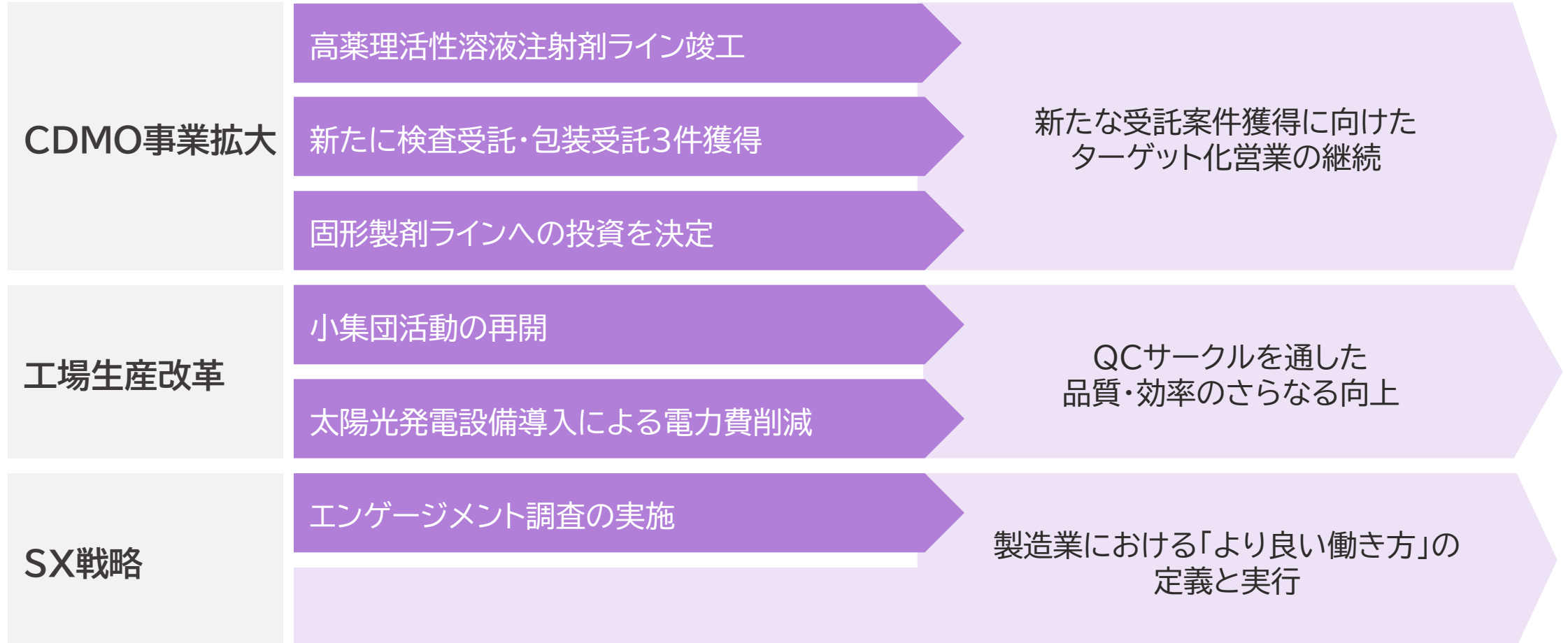
美容医療製品のブランド強化完了

一段階高い付加価値レベルの
新製品開発

各施策の進捗と実績(2/2)

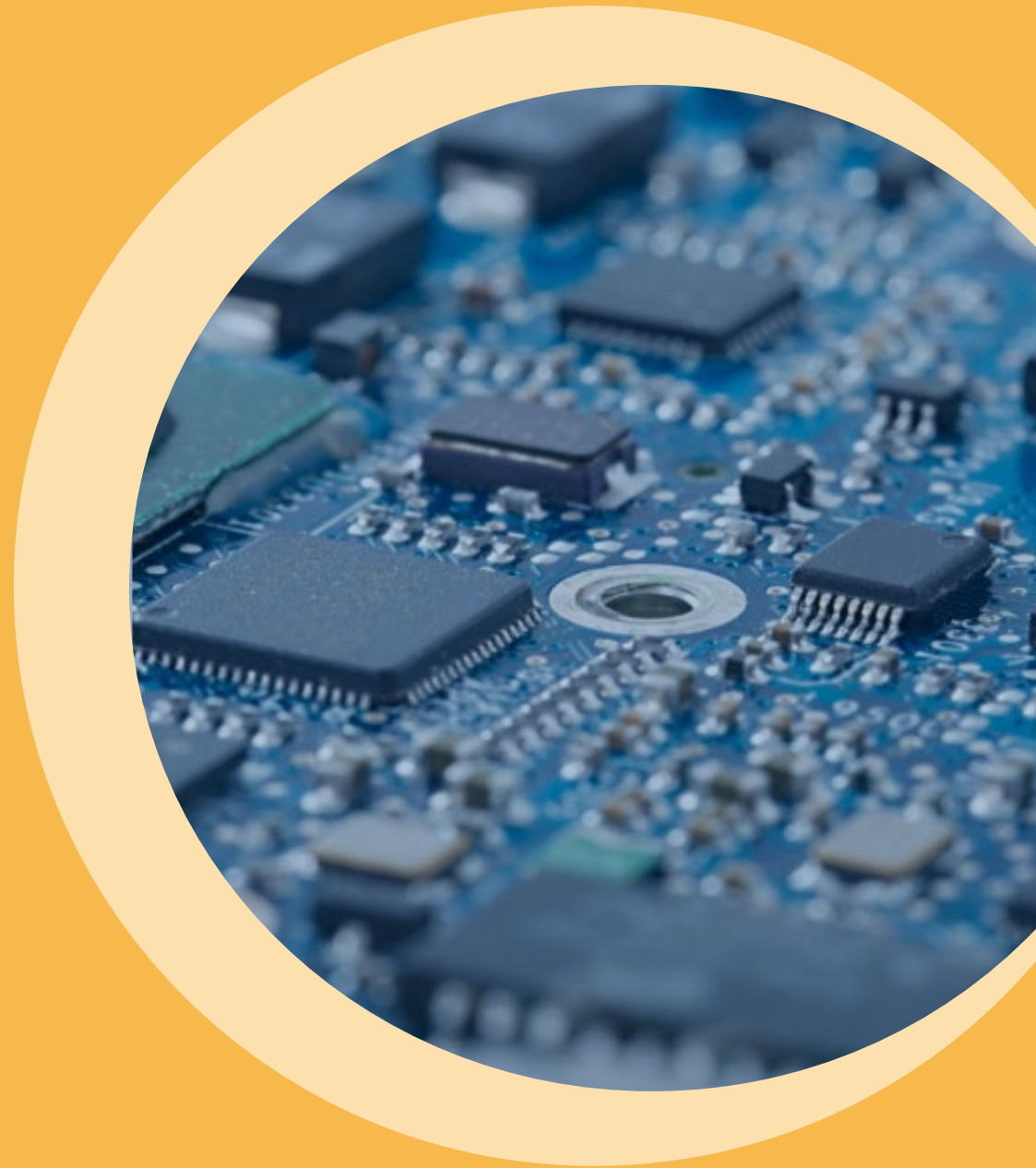
上期進捗

今後の取り組み

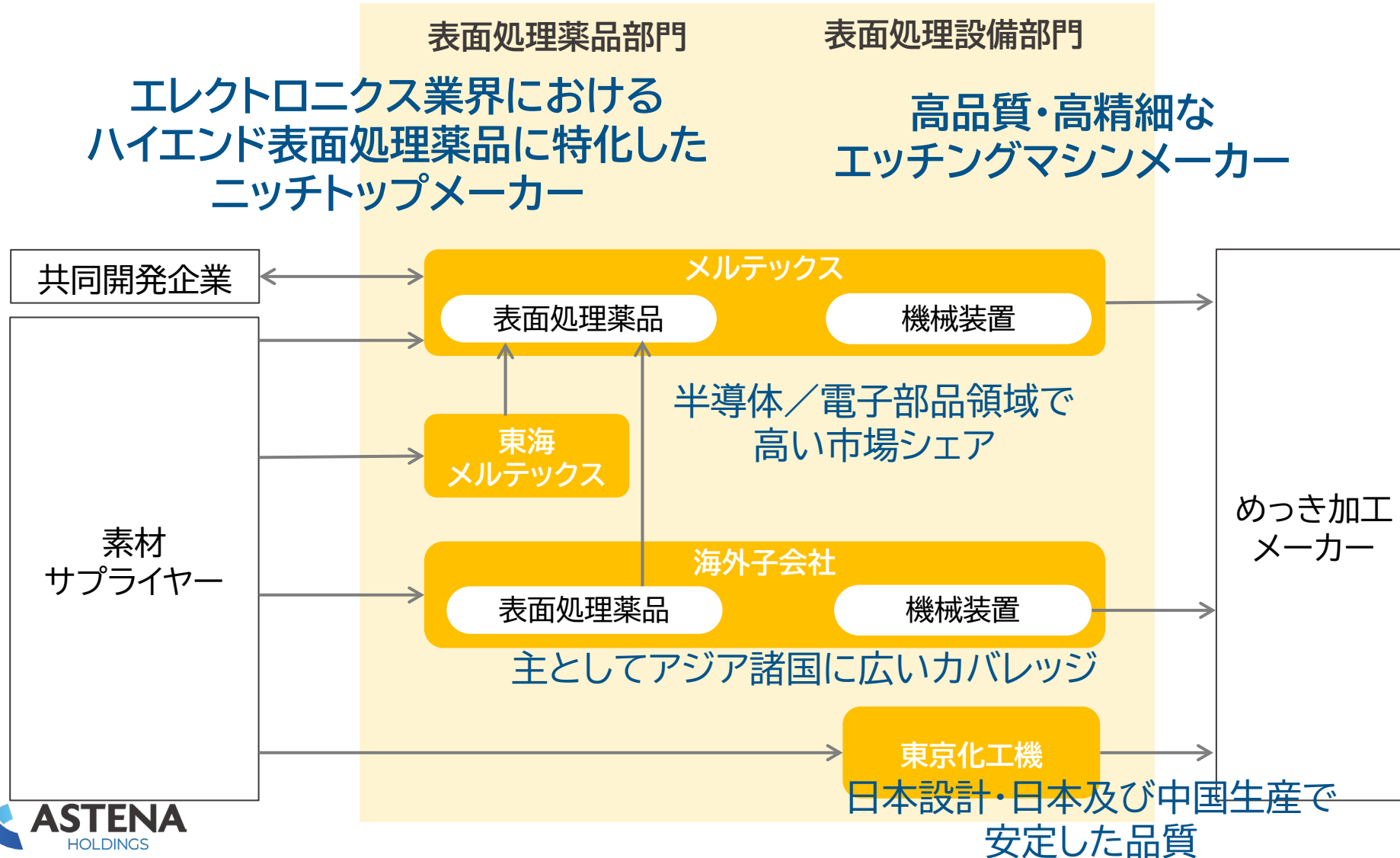


化学品事業

Industrial Chemicals Segment



化学品事業のビジネスモデル



2025年目標に向けての取り組み

2025年11月期営業利益目標

化学品事業

5.9億円

(+7.4億円※)

実現に向けた施策

表面処理薬品部門

- プリント基板
: 戦略製品の拡大・最先端プロセスの確立
- 電子部品
: アジア市場展開加速・コネクタ市場への参入
- 半導体
: 新設備設計による12inchウェハ市場開拓
- 新規市場
: EV周辺分野へのシーズ開発

表面処理装置部門

- 水平搬送スプレーシステム
: 製造キャパシティ20%増
- 既存事業の最適化
: 新構造装置・新規装置の開発

各施策の進捗と実績

表面処理薬品部門

上期進捗

今後の取り組み

プリント基板

海外大手半導体メーカーの認定・指定維持

複数の半導体メーカーからの
指定薬品となる

電子部品

すず薬品用自動分析装置の開発完了
売上高5,000万円計上

自動分析装置の拡販により
めっき薬品ビジネスの安定化につなげる

半導体

12inchウェハ対応めっき装置の開発中

2030年までの市場成長に応える
装置・薬品のトータルソリューション提供

新規市場

EV用銅めっき添加剤の開発に着手

ヒートシンク用途など幅広く
今後の自動車用途に展開

表面処理設備部門

水平搬送
スプレーシステム

生産キャパシティ増加により売上高+50%

開発キャパシティの増加
設計コスト・納期縮減

既存事業の最適化

新製品の仕様確定

新仕様設備のデファクト化

その他事業

Others



石川県珠洲市を拠点に地域社会と協力関係を築き地域資源を発掘し、
そこから社会課題の解決につながる新規事業を創出します。

ソーシャルインパクト

企業
投資会社
銀行

サステナブルヴィレッジ

持続的な生産活動、脱炭素、社会課題解決を行い、地域の活力と幸せな地域社会を創造する

地域資源の
高付加価値化

地域住民
地元企業
消費者

持続可能な地域

地方自治体
行政機関
教育機関

● 人材・教育事業

● ツーリズム・ふるさと納税事業

● 地域商社事業

● 投資事業

● 研究開発事業

地域資源の高付加価値化への取り組み(1/2)

ふるさとNOW



現地決済型ふるさと納税システム

自治体／観光施設等との

ネットワーク構築を推進

7自治体と契約
他10自治体で導入決定済

のとSDGsファンド／有機米・日本酒



サステナブルなビジネスモデルを持つ企業に

選択的に投資するファンド

投資先とアステナミネルヴァとのシナジー創出

11社に投資実行済

地域資源の高付加価値化への取り組み(2/2)

TUATファンド

「食料自給率の向上」や「脱炭素社会の構築」等のグローバルな課題解決に貢献するため、
国立大学法人東京農工大学と連携してスタートアップを支援

TUATファンドとは

- ・国立大学法人東京農工大学の研究成果を事業化することを目的としたファンド
- ・アステナホールディングスとしてTUATファンドに出資
- ・民間企業が運営するVCに現行制度上初めて国立大学法人が出資した事例



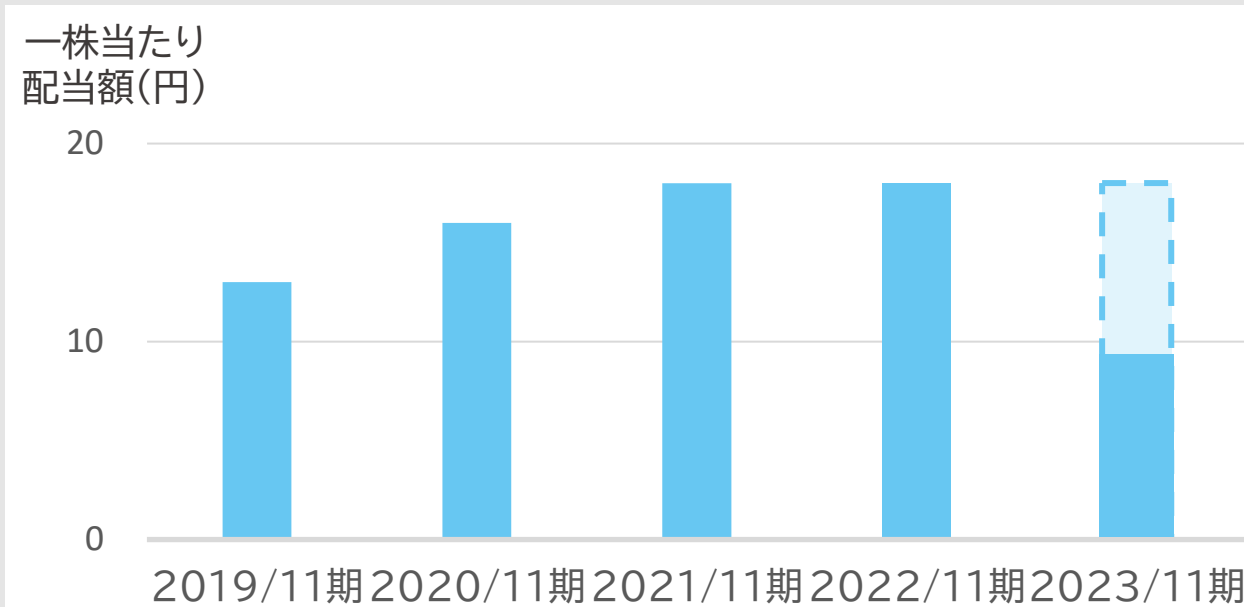
2025年目標投資総額10億円

01 2023年11月期第2四半期 決算概況

02 今後の取り組み・業績予想

03 株主還元

配当方針は維持、株主優待制度を一部変更



中間配当

9円

期末配当(予想)

9円

合計

18円

株主優待制度の
一部変更

変更

権利発生条件を最低単元株
100株から500株へ変更

新設

3,000株以上、3年以上の保有
15,000円相当の自社商品
又は5,000円相当の商品・寄付

アステナホールディングス株式会社(8095)

2023年11月期第2四半期 決算説明会

本日はご視聴いただき、ありがとうございました。

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。
- 後日の対応となりますが、追加の質疑がありましたらinfo_ir@astena-hd.comにて回答いたします。

お問い合わせ窓口

アステナホールディングス株式会社

企画財務部 企画グループ Tel:03-3279-0564